

夏季死亡災害 ゼロ 101日運動

< 平成26年6月1日 ~ 平成26年9月9日 >

「夏季死亡災害ゼロ101日運動」は、平成9年から継続して取り組んでいます。
この運動を労働者の生命を守る重要な活動期間として位置付け、近年達成できていない運動期間中の目標「死亡災害ゼロ」を達成すべく、各事業場がこの運動に積極的に参加し、経営トップの強いリーダーシップの下、安全管理者(推進者)による管理の推進と一人一人の安全意識の高揚を図り、次の重点事項に計画的に取り組ましましょう。

17ヶ年のうち10ヶ年は死亡災害ゼロを達成できていません。近年の平成22、23、24、25年は毎年発生しています。特に前年25年は過去最多の3件の死亡災害が発生しました。運動の旗を掲げているだけでは「ゼロ」にはなりません。具体的な行動をとりましょう。

重点 高さ50cm以上からの墜落災害を防ごう

職場内に潜む「高い場所」を探しましょう。また、墜落防止方法を考えましょう。
意外と知られていない脚立の使用方法を勉強し、正しく使しましょう。
脚立・はしご使用時は、安全ブロックを併用しましょう。
トラックの荷台での安全な作業方法を考えましょう。(荷主・配送先も)
建設現場での梁・桁・屋根などからの墜落を防ぎましょう。
足場からの墜落を防ぎましょう。(中さん等も確実に設置しましょう)

豆知識

50cmの高さから鉄板の上に転倒した時の衝撃荷重を計測すると、保護帽なしでは17kN(キロニュートン)にもなります。この衝撃は脳しんとうを超えて頭蓋骨折を引き起こすほどの値です。
飛来落下用のヘルメットをかぶっていた場合は、衝撃荷重は2/3に減りますが、なお脳しんとうの限界域を超え、脳に衝撃を与える可能性があります。
衝撃吸収ライナーの入った墜落時保護用ヘルメットの場合は、衝撃荷重が5kNを下回り、さらに、転倒の高さを1mにした場合でも衝撃荷重は7kN程度に抑えられます。

重点 車両系建設・荷役運搬機械等による災害を防ごう

職場内にある接触の危険の恐れがある車両を洗い出しましょう。また、接触防止の方法を考えましょう。
車両の可動・運行範囲を確認し、人との接触防止の方法を決めましょう。
接触防止のルールが守られているかを点検しましょう。
路肩等から転落しないように対策を講じましょう。
自動車のサイドブレーキも確実にかけましょう。

重点 挟まれ・巻き込まれ災害を防ごう

職場内にある「挟まれ・巻き込まれ」の危険の恐れがある機械(回転や上下左右に稼働する箇所など)を洗い出しましょう。
「挟まれ・巻き込まれ」の危険の恐れがある機械には、安全カバーや、ガード、柵、光線式安全装置などを設けましょう。
トラブル処理作業や掃除は、機械を停止してから行ないましょう。
安全管理者(推進者)は、機械を止めずにトラブル処理や掃除が行われていないか確認しましょう。

重点 伐採作業での激突、飛来落下を防ごう

作業開始前に、安全作業について、話し合いましょう。
「かかり木」処理方法を決めておきましょう。
指差呼称により、周囲、上方等の確認をしましょう。
指差呼称は、一本の伐倒につき5回以上行ないましょう。
(上方、まわり、伐倒方向、退避場所と退避経路、伐倒後の上方)
班員同士でお互いに作業状況をチェックしてみましょう。
班長に役割と責任を持たせ、現場での安全活動を活性化させましょう。

重点 交通事故を防ごう

運送業では、
A) 運転者の睡眠時間の確保に配慮した労働時間管理をしましょう。
B) 深夜・早朝時間帯は特に事故が多く、休憩後出発して間もない時間帯にも危険があるため気を付けましょう。
時間にゆとりを持って運転しましょう。
スピードは控えめに、車間距離は十分にとりましょう。
荷主や元請も交通災害防止に協力しましょう。

重点 熱中症を予防しよう

< 猛暑の年は、6月から熱中症が多発します。屋内の作業場でも対策を >
熱中症の症状、予防、救急措置の方法を学びましょう。
暑さへの体の準備が整っていない時期(「急に暑くなりだした時」や「作業環境の変化(新たな作業への従事・新規現場入場など)から1週間」など)には、特に入念な対策を行ないましょう。
作業開始前など、汗をかく前に水分・塩分補給を行いましょう。
十分な休憩時間を確保し、交代で休憩できる人員配置にしまししょう。

猛暑日には、負担が強い作業を減らしたり、作業時間を短くしましょう。
「熱を遮る遮へい物」「直射日光・照り返しを遮ることができる簡易な屋根」「通風・冷房の設備」の設置に努めましょう。
熱中症の症状がでたときは、直ぐに、病院で受診させましょう。

主唱者 一関労働基準監督署
一関労働災害防止団体等連絡協議会
公益財団法人 岩手労働基準協会一関支部
建設業労働災害防止協会岩手県支部一関分会
建設業労働災害防止協会岩手県支部千厩分会
陸上貨物運送事業労働災害防止協会岩手県支部一関分会
前沢工業クラブ

実施者 各事業場

林業・木材製造業労働災害防止協会岩手県支部一関分会
林業・木材製造業労働災害防止協会岩手県支部東磐分会
一関電気工事業災害防止協議会
一関市水道工業協同組合
千厩町工業クラブ